

農業と様々な仕事を組み合わせた暮らしについてのアンケート調査結果について

令和 2 年 10 月

調査の概要

(1) 調査目的

農業と様々な仕事を組み合わせ暮らしている方の実態を把握することにより、ポストコロナも見据えた、農村地域での新たなライフスタイルの実現及び十分な所得の確保に向けた新しい働き方の検討に活用する。

(2) 対象者

農業(※1)を含むマルチワーク(※2)を行っている方

※1 自家消費等のみの農業や、農業法人等で働いている方も含む。

※2 マルチワークとは、個人単位で複数の仕事に従事している働き方を指す。

(3) 調査方法

web サイトにアンケートを掲載し、回答を募集

(4) 調査実施期間

令和 2 年 7 月 29 日 (水) ～ 8 月 24 日 (月)

(5) 回答数

145 件

(6) 回答者の基本情報

性 別：男性 (82.1%) , 女性 (17.9%)

年 齢：20 代 (4.8%) , 30 代 (17.9%) , 40 代 (31.0%) , 50 代 (27.6%) ,
60 代以上 (18.6%)

居 住 地：都市的地域 (41%) , 平地農業地域 (15%) , 中間農業地域 (30%) ,
山間農業地域 (14%)

居住理由：幼少期より定住 (32.4%) , 親元からの独立 (15.9%) , U ターン (15.2%) ,
I ターン (18.6%) , 転勤 (U・I ターン除く) (4.1%) , その他 (13.8%)

アンケート内容と結果について

- ① 農業以外の仕事に従事することについて、農業に従事する上でどのようなメリット又はデメリットにつながっていると感じていますか？(回答数 115)

【主な意見（メリット）】収入の確保・安定化、他分野の情報入手、ネットワークの構築

【主な意見（デメリット）】農外の仕事と農作業とのスケジュール調整

回答者の意見の概要	年代・性別	居住地	年間所得 (半農)	年間所得 (半X)
○現金収入があることにより、 <u>農業が不振だった場合でも蓄えはある程度確保できる。</u>	35 歳 男性	山間農業地域	50～100 万円	50～100 万円
○農業経営に対する <u>視野の広がりや、人脈などビジネスにつながるネットワークが作れる</u> メリットが大きい。	36 歳 男性	都市的地域	150 ～ 200 万円	① 700 ～ 1,000 万円 ②150～200 万円
○六次産業化事業として進めることができる。	41 歳 男性	平地農業地域	100 ～ 150 万円	①150～200 万円 ② 15 ～ 50 万円 ③100～150 万円等
○農業は天候によって作業が左右されるが、天候によって会社を休むことはできないので、 <u>収穫時期を逃したり思うように農作業ができない場合がある。</u>	55 歳 女性	都市的地域	15 万円未満	300 ～ 400 万円
○農業外の仕事の都合により、 <u>農作業の時間が短縮されること</u> や、 <u>休日が少ないこと</u> はデメリット。	31 歳 女性	中間農業地域	200 ～ 300 万円	150 ～ 200 万円
○ <u>農業と仕事が重なる時期があるため、その時期のやりくりが大変。</u>	35 歳 男性 (再掲)	山間農業地域	50～100 万円	50～100 万円

② マルチワークの1つとして農業を組み合わせることについて、どのような魅力を感じていますか？
(回答数 110)

【主な意見】生活の充実、自給、地域や人との交流

回答者の意見の概要	年代・性別	居住地	年間所得 (半農)	年間所得 (半X)
○農業により得られる様々なメリット（食の自給による満足感、子どもへの教育、人脈の広がり、リフレッシュ・リラックス・運動による精神的・身体的な健康など）でQOLが格段に向上する。	39 歳 男性	都市的地域	15 万円 未 満	400 ～ 500 万円
○地域に暮らす上で、 <u>地域の方々と同じ目線や話題で語れる</u> ところに満足感を感じる。あとは <u>食べるもの(米)に困らないという安心感</u> 。同時に <u>食べるものを作る充実感</u> にもつながっていると思う。	47 歳 男性	中間農業地域	15 ～ 50 万 円	① 50 ～ 100 万円 ② 50 ～ 100 万円
○自然に触れることによる <u>生活の充実感</u> が増したり、 <u>農業を通じた人との交流</u> などに <u>魅力</u> がある。「自分の農作物や加工品」を手土産などに出来ることも価値が大きい。また、食への関心が高まることで健康についても意識が向くようになる。	36 歳 男性	都市的地域	150 ～ 200 万円	① 700 ～ 1,000 万円 ② 150 ～ 200 万円

③ 農業を含むマルチワークに関し、新たに改善や挑戦をしようと思っていること (回答数 97)

【主な意見】効率化、事業拡大、6次産業化

回答者の意見の概要	年代・性別	居住地	年間所得 (半農)	年間所得 (半X)
○ <u>作業の機械化</u> を積極的に行いたい。 <u>農地の規模拡大集積及び大区画化</u> を進めたい。	49 歳 男性	中間農業地域	400 ～ 500 万円	400 ～ 500 万円
○農村独自の <u>農村ブランド化</u> で生鮮食品で <u>外れた規格外品</u> を商品化して収益を上げる。農業資材などの卸業社と協力して農家に安定供給を図る。	24 歳 男性	中間農業地域	0	100 ～ 150 万円

- ④ 農業を含むマルチワークを行う上で、あるいは、新たな改善や挑戦を行おうとする上で、支障となっていることや、環境として望んでいること（回答数 97）

【主な意見（支障となっていること）】 認定農業者でないと講習等が受けられない、農地の確保

【主な意見（望んでいること）】 マルチワークから本格参入するモデル、農地の貸借・売買の円滑化

回答者の意見の概要	年代・性別	居住地	年間所得 (半農)	年間所得 (半X)
○農業をより本格的に行いたい、 <u>認定農業者でないと受けられない講習などがたくさんあり、ステップアップができない。</u>	34 歳 男性	中間農業地域	15 ～ 50 万円	①400～500万円 ②400～500万円 ③ 15 ～ 50万円
○農業経営を拡大しようとする時に、 <u>条件の合う農地を見つけることが難しい。</u>	36 歳 男性	都市的地域	150 ～ 200 万円	① 700 ～ 1,000 万円 ②150～200万円
○ <u>マルチワークから徐々に農業に本格参入するモデル</u> を新たに示していただけるとありがたい。	34 歳 男性 (再掲)	中間農業地域	15 ～ 50 万円	①400～500万円 ②400～500万円 ③ 15 ～ 50万円
○もっと <u>農地の貸借・売買のハードルを下げる</u> （情報量の増加や手続の簡素化）ことはできないか。	36 歳 男性 (再掲)	都市的地域	150 ～ 200 万円	① 700 ～ 1,000 万円 ②150～200万円

⑤ 農業を含むマルチワークに関心を持つ人の裾野の拡大や、実践者の支援のために必要な政策（回答数 92）

【主な意見】 農業参入への入口の拡大、実践者情報の充実、農業の技術指導、受入先への助成

回答者の意見の概要	年代・性別	居住地	年間所得 (半農)	年間所得 (半X)
○ <u>農業者の生活の実態が見えづらく、農業と関わりのない人たちが参入するための参考情報が少なすぎる。</u> また、 <u>マルチワーク前提で人を受け入れられる農業法人も少なく、</u> そうなると個人がリスクを取っての就農を果たす必要があるため、ハードルが上がる。 <u>もっとカジュアルに農業参入できる仕組みが必要。</u>	36 歳 男性	都市的地域	150 ～ 200 万円	① 700 ～ 1,000 万円 ② 150～200 万円
○ <u>実践者の情報をみることができるサイト</u> などがあればよい。	30 歳 女性	中間農業地域	100 ～ 150 万円	100 ～ 150 万円
○農業を追加する人、新たな取り組みする農業者。どちらも受け入れたり、 <u>指導してくれる場</u> があつてのこと。 <u>受け入れる側にも助成金</u> があればいいと思う。	47 歳 男性	都市的地域	1,000 万円以上	15 ～ 50 万円

⑥ 「農業を含むマルチワーク」について、どのような愛称をつけたいと思うか

【主な意見】 ○フリースタイルアグリ

○お百姓（2件）

○プラスワン農業

○農マルワーク

○農 and fan

○マルチ農民

○マルチアグリ（2件）

○マルチファーマー（2件）

○半農半X（4件）

⑦ その他の御意見

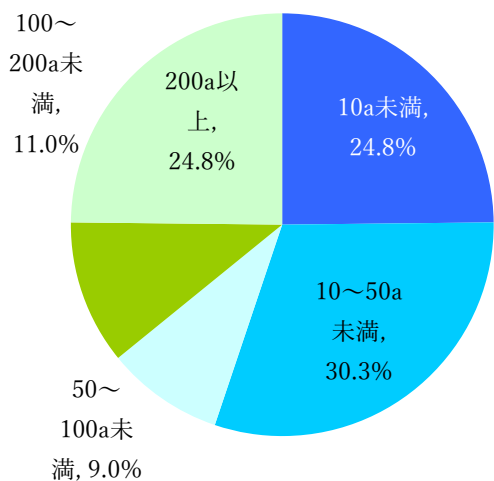
【主な意見】農業が赤字、農業参入の労力やリスクが収入に見合わない、個人生産者にとって販売が支障

回答者の意見の概要	年代・性別	居住地	年間所得 (半農)	年間所得 (半X)
○そもそも農業が赤字なので <u>他の仕事をしないと成り立たない</u> 。	42 歳 男性	中間農業地域	15 万円 未 満	①200～300 万円 ② 15 ～ 50 万円
○魅力的な仕事なので本当はもう少し農業に時間を割きたいが、あまりに <u>時間と収入、リスクのバランスが合わない</u> ので、農業に割く時間が増やせない。	36 歳 男性	中間農業地域	15 ～ 50 万 円	①100～150 万円 ②100～150 万円 ③ 50 ～ 100 万円他
○ <u>農業者に準ずるような制度があれば</u> 、ちょっとやってみたいと思っている人は、挑戦すると思う。脱サラして最初からリスクを負うやり方以外の方法を、もっと法整備から考えてみてほしい。	40 歳 女性	都市的地域	0	①200～300 万円 ② 15 万円 未満
○ <u>農産物の販売が個人生産者にとっては支障</u> となる。インターネット販売が容易に開始できるような環境整備があれば良い。	53 歳 男性	平地農業地域	50～100 万 円	500 ～ 700 万円

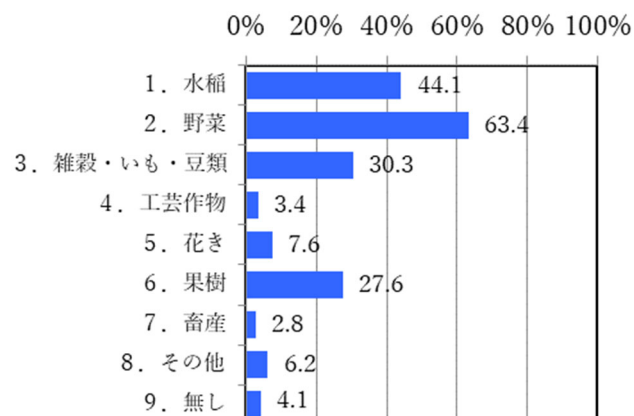
⑧ 回答者の基礎データ：自ら営む農業について

○自ら営む農業の年間所得について、400 万円未満がおよそ 90% 占めており、無し（農業法人等の雇用のみか自家消費のみ）との回答も 30% 弱。

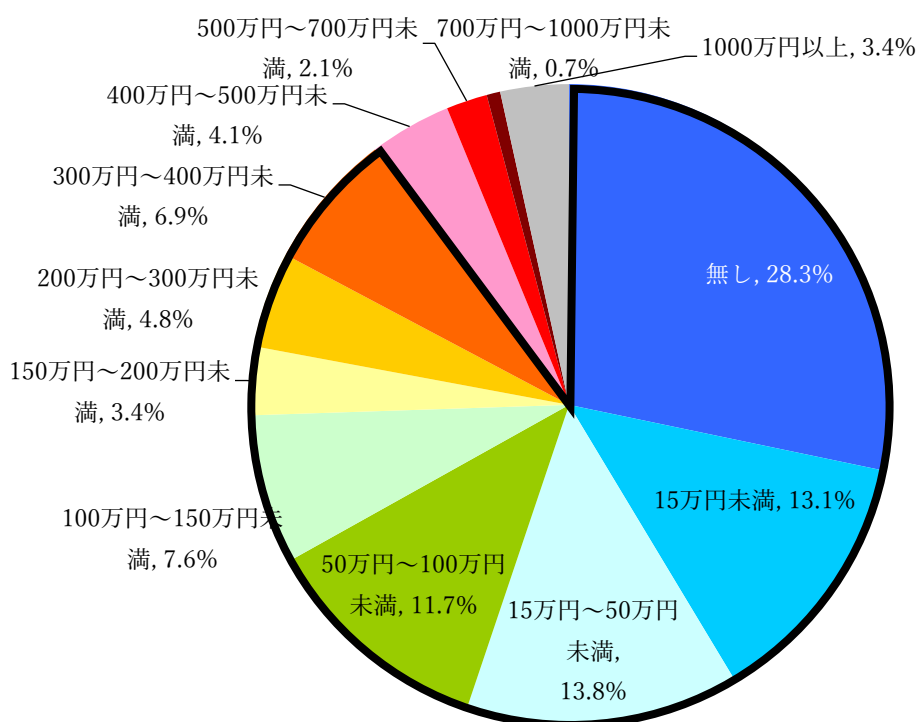
【表 1】「自ら営む農業」の経営面積(N=145)



【表 2】「自ら営む農業」の作付品目(N=145)（複数回答）



【表 3】「自ら営む農業」のおよその年間所得(N=145)



⑨ 回答者の基礎データ：自ら営む農業以外の仕事について

○自ら営む農業以外の仕事の数について、1つとの回答が最も多い（約7割）が、2つ以上との回答者も約3割。

○自ら営む農業以外の仕事のうち、最も所得の多い仕事の年間所得について、60%強が400万円未満と回答。

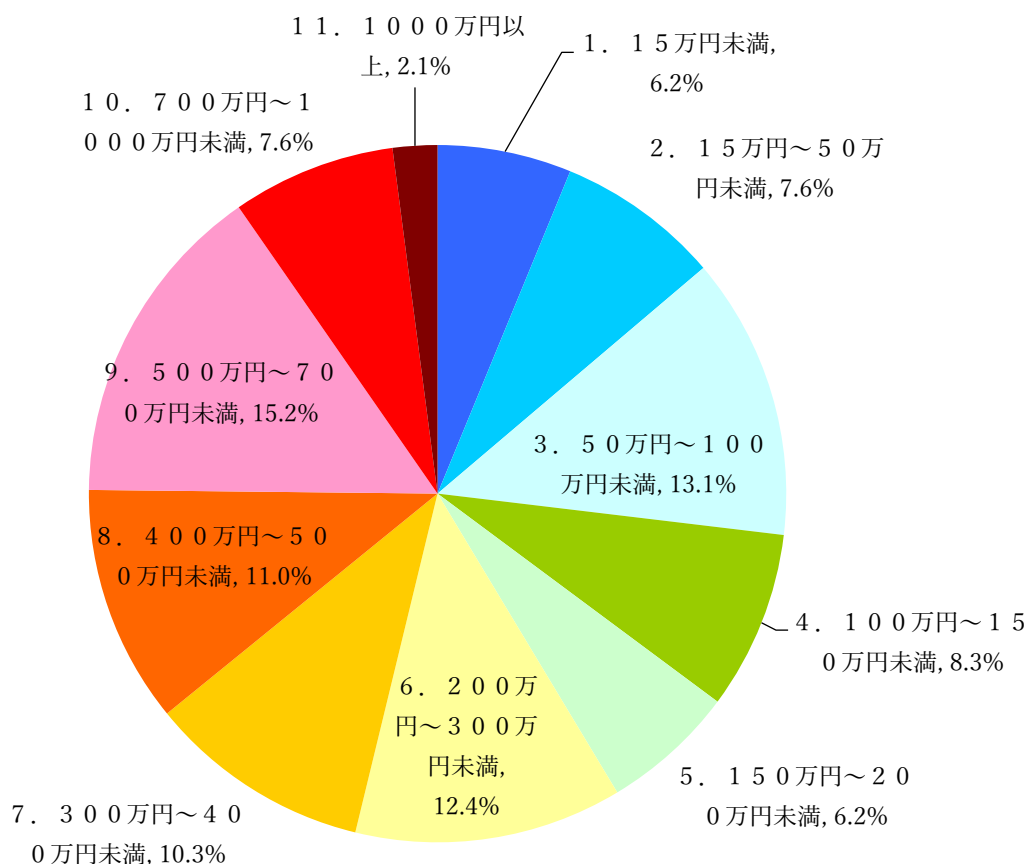
【表4】自ら営む農業以外の仕事の数（N=145）

仕事の数	人数
1	100
2	27
3	10
4	3
5	3
6	1
7	0
8	1

職業、勤務先の例

- ・会社員
- ・公務員
- ・福祉施設
- ・観光農園
- ・直売所
- ・執筆業
- ・会社経営
- ・無人ヘリオペレーター
- ・手芸作家
- ・芸術家
- ・民泊、ゲストハウス
- 等

【表5】自ら営む農業以外の仕事のうち、最も所得の多い仕事のおよその年間所得(N=145)※複数回答



農業と様々な仕事を組み合わせた暮らしに関するアンケート

〈本アンケートの趣旨〉

農業と様々な仕事を組み合わせた暮らし方をしている方の実態を把握することにより、ポストコロナも見据えた、農村地域での新たなライフスタイルの実現及び十分な所得の確保に向けた新しい働き方の検討に活用します。いただいた回答については、統計的に処理し、個人を特定できない形で、「新しい農村政策の在り方に関する検討会」の資料の中で紹介させていただく場合があります。

なお、自由記述の設問については、回答が難しい場合は空欄でも構いません。

〈本アンケートの対象者〉

農業※を含むマルチワークを行っている方

※自家消費等のみの農業や、農業法人等での雇用も含みます。

(注) 本アンケートにおいて、「マルチワーク」とは、個人単位で複数の仕事に従事している働き方を指すものとします。

問1 回答者の性別について、該当するものを選択してください。

1. 男性、2. 女性

問2 回答者の回答時点の年齢を記入してください。

(歲)

問3 回答者が居住している世帯は、どれに該当しますか？

1. 単独世帯、2. 夫婦のみの世帯、3. 親と未婚の子のみの世帯、4. その他

問4 回答者が居住している世帯の所在地の郵便番号を記入してください。

(—)

(注) 地域特性別の分析を行うために記入をお願いするものであり、郵便番号を伴う情報を公表することはありません。

問5 回答者が、現在居住している世帯に住むことになった理由は何ですか？

1. 幼少期より住み続けている、2. 親元からの独立、3. Uターン、4. Iターン
5. 転勤（Uターン、Iターンを除く）、6. その他（ ）

問6 「自ら営む農業」以外の仕事について、仕事ごとに、従事している主な地域、およその年間所得及び具体的な仕事内容を以下の記入例に従って記入してください。（複数ある場合は、所得が多い順に、最大10件まで回答してください。）

仕事1（地域：	）	（年間所得：	）	（仕事内容：	）
仕事2（地域：	）	（年間所得：	）	（仕事内容：	）
仕事3（地域：	）	（年間所得：	）	（仕事内容：	）
仕事4（地域：	）	（年間所得：	）	（仕事内容：	）
仕事5（地域：	）	（年間所得：	）	（仕事内容：	）
仕事6（地域：	）	（年間所得：	）	（仕事内容：	）
仕事7（地域：	）	（年間所得：	）	（仕事内容：	）
仕事8（地域：	）	（年間所得：	）	（仕事内容：	）
仕事9（地域：	）	（年間所得：	）	（仕事内容：	）
仕事10（地域：	）	（年間所得：	）	（仕事内容：	）

〈従事している主な地域〉

1. 居住している地域、2. その他の地域（通常日帰り圏内の地域）
3. その他の地域（通常宿泊を要する距離に位置する地域）、4. 地域を選ばない

〈およその年間所得〉

1. 15万円未満、2. 15万円～50万円未満、3. 50万円～100万円未満
4. 100万円～150万円未満、5. 150万円～200万円未満
6. 200万円～300万円未満、7. 300万円～400万円未満
8. 400万円～500万円未満、9. 500万円～700万円未満
10. 700万円～1000万円未満、11. 1000万円以上

〈記入例〉

仕事1（地域：	1	）	（年間所得：	4	）	（仕事内容：	カフェ経営	）
仕事2（地域：	4	）	（年間所得：	2	）	（仕事内容：	演歌歌手	）

（注）農業法人等での雇用は、「自ら営む農業」以外の仕事に該当するものとして回答してください。

問7 「自ら営む農業」に従事している主な地域は、次のどれに該当しますか？

1. 居住している地域、2. その他の地域（通常日帰り圏内の地域）
3. その他の地域（通常宿泊を要する距離に位置する地域）
4. 自ら営む農業には従事していない（農業法人等での雇用のみ）

問8 「自ら営む農業」の経営面積を記入してください（単位はaとしてください）。

（ ） a

（注）農業法人等で雇用されている場合、当該法人等の経営面積は含めずに回答をお願いします。
なお、農業法人等での雇用をみの場合、回答は「0」としてください。

問9 「自ら営む農業」の作付品目について、該当するものを選択してください（複数回答可）。
なお、補足説明（詳細な品目、栽培方法の工夫など）があれば記入をお願いします（自由記述）。

1. 水稻、2. 野菜、3. 雑穀・いも・豆類、4. 工芸作物、5. 花き、6. 果樹、7. 畜産
8. その他、9. 無し

（補足説明： ）

（注）農業法人等で雇用されている場合、当該法人等の作付品目は含めずに回答をお願いします。

問10 「自ら営む農業」の作付品目について、該当するものを販売金額第3位のものまで選択してください。なお、補足説明（販売方法など）があれば記入をお願いします（自由記述）。

第1位（ ）、第2位（ ）、第3位（ ）

1. 水稻、2. 野菜、3. 雑穀・いも・豆類、4. 工芸作物、5. 花き、6. 果樹、7. 畜産
8. その他、9. 無し

（補足説明： ）

（注1）農業法人等で雇用されている場合、当該法人等の作付品目は含めずに回答をお願いします。

（注2）自家消費等のみの場合、第1位～第3位ともに「9. 無し」を選択してください。

問11 「自ら営む農業」のおよその年間所得について、該当するものを選択してください。

1. 無し、2. 15万円未満、3. 15万円～50万円未満、4. 50万円～100万円未満
5. 100万円～150万円未満、6. 150万円～200万円未満
7. 200万円～300万円未満、8. 300万円～400万円未満
9. 400万円～500万円未満、10. 500万円～700万円未満
11. 700万円～1000万円未満、12. 1000万円以上

（注）農業法人等で雇用されている場合、当該法人等からの給与は含めずに回答をお願いします。

問12 農業以外の仕事に従事することについて、農業に従事する上でどのようなメリット又はデメリットにつながっていると感じていますか？（自由記述）。

（ ）

問13 マルチワークの1つとして農業を組み合わせることについて、どのような魅力を感じていますか？所得の確保、ライフスタイルの充実、やりがいなど、幅広い観点から記入をお願いします（自由記述）。

（ ）

問14 農業を含むマルチワークに関し、新たに改善や挑戦をしようと思っていることがあれば、記入をお願いします（自由記述）。

（ ）

問 1 5 農業を含むマルチワークを行う上で、あるいは、新たな改善や挑戦を行おうとする上で、支障となっていることや、環境として望んでいることがあれば、記入をお願いします（自由記述）。

（ ）

問 1 6 農業を含むマルチワークについて、どのような愛称をつけたいと思いますか？
（自由記述）

（ ）

問 1 7 農業を含むマルチワークに関心を持つ人のすそ野の拡大や、実践者の支援のために必要な政策について、御提案があればお願いします（自由記述）。

（ ）

問 1 8 今後、より詳細な追加調査を行わせていただく可能性があります。追加調査の実施に同意いただける場合、メールアドレスを記載してください。

1. 同意する、2. 同意しない

メールアドレス（ ）

【詳細な調査で伺う予定の事項】

- ・仕事の組合せ形態の詳細
- ・世帯単位としての所得の確保手段

（注）伺う予定の事項は、現時点で想定しているものであり、変更する可能性があります。

（最後に）

アンケートは以上となります。

御協力いただきありがとうございました。

農林水産省オリジナルのバーチャル背景をダウンロードすることができますので、よろしければ御活用ください。

URL : https://www.maff.go.jp/j/nousin/tei_jyuu/nou_juu.html